

いじめの問題に関する児童生徒の実態把握に係る調査の概要と考察

滝川市教育委員会教育支援課

①調査の趣旨

いじめの実態や児童生徒のいじめに対する考え方等を把握し、今後のいじめの未然防止、早期発見、早期対応等の指導に役立てる。

②調査方法

- ・ 道教委調査「いじめの把握のためのアンケート調査」に基づく実態調査
- ・ 保護者宛の文書を同封して家庭に持ち帰って記入
- ・ 氏名の任意記入欄を設定
- ・ 回収と開封及び集計を各学校で実施

③実施月・参加対象

平成27年 6月 市内小・中・高等学校児童生徒 ※高等学校分については別途整理集計

④回収結果

	平成27年 6月					平成26年度		平成25年度		平成24年度	
	在籍者数	回収者数	氏名記入者数	回収率	氏名記入率	11月回収率	6月回収率	11月回収率	6月回収率	11月回収率	5月回収率
全小学校	1882人	1758人	1727人	93.4%	98.2%	90.4%	90.9%	91.3%	89.2%	90.0%	91.3%
全中学校	1020人	862人	852人	84.5%	98.8%	91.3%	87.3%	93.3%	85.1%	94.0%	90.1%
合計	2902人	2620人	2579人	90.3%	98.4%	90.7%	89.6%	92.0%	87.7%	91.4%	90.9%

⑤アンケート結果

Q. あなたは、今もいじめられていますか。

	平成27年6月		平成26年11月		平成26年6月		平成25年11月		平成25年6月		平成24年11月		平成24年5月	
	今もいじめられている	率	いじめられている	率										
小1年生	22人	8.1%	21人	7.2%	15人	5.2%	17人	5.7%	14人	4.7%	22人	8.2%	20人	7.5%
小2年生	20人	6.8%	13人	4.4%	20人	6.7%	11人	4.2%	13人	4.9%	22人	7.6%	24人	8.3%
小3年生	19人	6.0%	10人	3.6%	8人	2.9%	19人	6.6%	22人	8.1%	21人	7.0%	17人	5.6%
小4年生	6人	2.2%	18人	6.3%	14人	4.9%	17人	5.6%	9人	3.1%	9人	2.9%	12人	3.9%
小5年生	12人	4.0%	10人	3.4%	7人	2.4%	13人	4.4%	16人	5.4%	8人	2.7%	10人	3.1%
小6年生	8人	2.7%	3人	1.0%	6人	2.0%	7人	2.2%	10人	3.3%	10人	3.0%	5人	1.5%
中1年生	3人	1.0%	1人	0.3%	4人	1.2%	3人	0.9%	4人	1.3%	3人	0.9%	5人	1.4%
中2年生	2人	0.8%	3人	0.9%	3人	1.0%	1人	0.3%	3人	0.3%	2人	0.6%	4人	1.2%
中3年生	1人	0.3%	5人	1.7%	2人	0.8%	0人	0.0%	3人	1.0%	1人	0.3%	4人	1.4%
計	93人	3.5%	84人	3.1%	79人	3.0%	88人	3.2%	94人	3.6%	98人	3.7%	101人	3.6%

【考察】

「今もいじめられている」と回答している児童生徒の人数が平成25年6月の調査以来90名台に上った。各学年の経年変化を見ていくと、減少傾向の学年は小4、低率横ばい傾向の学年は中1～中3であった。それに対して、現小学3年生は低率ではあるが小2からやや増加傾向が見られる。いじめの様態については、小中学校ともに「悪口を言われる」が最も多く、児童生徒の発する言葉に対して注意深く傾聴すると共に相手意識を無視した言動については今後とも毅然とした指導と日常からの意識化を図る取組の継続が求められる。各学校では、「4月から現在までいじめられたことがある」「今もいじめられている」と回答した児童生徒を中心に個々の実態を把握・精査し解決が図られている。対応の結果、いじめの認知に値する事案としての件数は0件であった。しかし、軽度として扱われている人間関係のトラブルが固定化されないように、更にはいじめに発展しないように、指導後も人間関係改善・いじめ未然防止の方策に力を注ぐ必要がある。

Q. あなたは、今年の4月から今日まで、友人がいじめられているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。

	平成27年6月		平成26年11月		平成26年6月		平成25年11月		平成25年6月		平成24年11月		平成24年5月	
	ある	率	ある	率	ある	率	ある	率	ある	率	ある	率	ある	率
小1年生	59人	22%	74人	26%	66人	23%	91人	30%	61人	20%	85人	32%	64人	24%
小2年生	73人	25%	87人	30%	78人	26%	62人	24%	49人	19%	75人	26%	91人	31%
小3年生	50人	16%	48人	17%	33人	12%	65人	23%	54人	20%	61人	20%	44人	14%
小4年生	14人	5%	62人	22%	47人	16%	55人	18%	46人	16%	39人	13%	54人	18%
小5年生	31人	10%	54人	18%	49人	17%	52人	18%	40人	13%	49人	16%	37人	12%
小6年生	27人	9%	36人	13%	22人	7%	40人	12%	32人	11%	82人	25%	55人	16%
中1年生	18人	6%	50人	15%	16人	5%	44人	13%	18人	6%	42人	12%	31人	9%
中2年生	17人	7%	28人	9%	32人	10%	23人	7%	26人	9%	85人	24%	39人	11%
中3年生	3人	1%	17人	6%	12人	5%	30人	8%	18人	6%	31人	9%	38人	13%
計	292人	11%	456人	17%	355人	13%	462人	16%	344人	13%	549人	19%	453人	16%

【考察】

各学年の5・6月同士の経年変化を見ていくと、小2から小3、小4から小5、小6から中1の率が減少傾向にあるのは、クラス替えに伴うものであると考えられるが、現小4、小6と中3は持ち上がりの学年にもかかわらず、減少傾向を示し、現小2は持ち上がりにもかかわらず微増にとどまっていることは良い傾向であるといえる。しかし、現中2はクラス替えがあったにもかかわらず減少していない。また、昨年度の「いじめ通報相談」や「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」からも、いじめが教師に見えにくい中で起こっていることが明らかになっており、こうした児童生徒の情報は一層大切にしなければならないといえる。各学校は、今回の「子どもの目から見た」いじめの実態について把握・精査し、その結果を校内で共通理解し学級指導にもフィードバックしている。しかし、事後対応に追われることにならないためにも、例えば、子ども同士のコミュニケーションスキルを測定し改善を図るツール「ほっと」を活用したり、道徳の時間を基軸とした道徳教育の充実を図るなど、未然防止につながる取組が必要である。

いじめの問題に関する児童生徒の実態把握に係る調査の概要と考察

滝川市教育委員会教育支援課

①調査の趣旨

いじめの実態や児童生徒のいじめに対する考え方等を把握し、今後のいじめの未然防止、早期発見、早期対応等の指導に役立てる。

②調査方法

- ・ 道教委調査「いじめの把握のためのアンケート調査」に基づく実態調査
- ・ 保護者宛の文書を同封して家庭に持ち帰って記入
- ・ 氏名の任意記入欄を設定
- ・ 回収と開封及び集計を各学校で実施

③実施月・参加対象

平成27年11月 市内小・中・高等学校児童生徒 ※高等学校分については別途整理集計

④回収結果

	平成27年11月					平成27年 6月	平成26年度		平成25年度		平成24年度	
	在籍者数	回収者数	氏名記入者数	回収率	氏名記入率	回収率	11月回収率	6月回収率	11月回収率	6月回収率	11月回収率	5月回収率
全小学校	1886人	1748人	1723人	92.7%	98.6%	93.4%	90.4%	90.9%	91.3%	89.2%	90.0%	91.3%
全中学校	1016人	964人	948人	94.9%	98.3%	84.5%	91.3%	87.3%	93.3%	85.1%	94.0%	90.1%
合計	2902人	2712人	2671人	93.5%	98.5%	90.3%	90.7%	89.6%	92.0%	87.7%	91.4%	90.9%

⑤アンケート結果

Q. あなたは、今もいじめられていますか。

	平成27年11月		平成27年6月		平成26年11月		平成26年6月		平成25年11月		平成25年6月		平成24年11月		平成24年5月	
	今もいじめられている	率	今もいじめられている	率	いじめられている	率										
小1年生	29人	10.9%	22人	8.1%	21人	7.2%	15人	5.2%	17人	5.7%	14人	4.7%	22人	8.2%	20人	7.5%
小2年生	20人	6.9%	20人	6.8%	13人	4.4%	20人	6.7%	11人	4.2%	13人	4.9%	22人	7.6%	24人	8.3%
小3年生	22人	6.8%	19人	6.0%	10人	3.6%	8人	2.9%	19人	6.6%	22人	8.1%	21人	7.0%	17人	5.6%
小4年生	5人	1.9%	6人	2.2%	18人	6.3%	14人	4.9%	17人	5.6%	9人	3.1%	9人	2.9%	12人	3.9%
小5年生	13人	4.5%	12人	4.0%	10人	3.4%	7人	2.4%	13人	4.4%	16人	5.4%	8人	2.7%	10人	3.1%
小6年生	8人	2.5%	8人	2.7%	3人	1.0%	6人	2.0%	7人	2.2%	10人	3.3%	10人	3.0%	5人	1.5%
中1年生	2人	0.6%	3人	1.0%	1人	0.3%	4人	1.2%	3人	0.9%	4人	1.3%	3人	0.9%	5人	1.4%
中2年生	4人	1.3%	2人	0.8%	3人	0.9%	3人	1.0%	1人	0.3%	3人	0.3%	2人	0.6%	4人	1.2%
中3年生	0人	0.0%	1人	0.3%	5人	1.7%	2人	0.8%	0人	0.0%	3人	1.0%	1人	0.3%	4人	1.4%
計	103人	3.8%	93人	3.5%	84人	3.1%	79人	3.0%	88人	3.2%	94人	3.6%	98人	3.7%	101人	3.6%

【考察】

「今もいじめられている」と回答している児童生徒の人数が増加している。回答した児童生徒への聞き取りはもちろんのこと、見たり聞いたりしたことがあると回答した児童生徒への聞き取りとあわせて実態把握を進めている。

各学年の経年変化を見ていくと、減少傾向の学年は小4、低率横ばい傾向の学年は小6、中1～中3であった。

それに対して、現小学3年生は低率ではあるがやや増加傾向が見られる。

いじめの様態については、小中学校ともに「悪口を言われる」が最も多く、児童生徒の発する言葉に対して注意深く傾聴すると共に相手意識を無視した言動については今後とも毅然とした指導と日常からの意識化を図る取組の継続が求められる。

各学校では、上述のおとり「4月から現在までいじめられたことがある」「今もいじめられている」と回答した児童生徒を中心に個々の実態を把握・精査し解決が図られている。対応の結果、本アンケート調査からいじめの認知に値する事案としての件数は0件であった。しかし、軽度として扱われている人間関係のトラブルが固定化されないように、更にはいじめに発展しないように、指導後も人間関係改善・いじめ未然防止の方策に力を注ぐ必要がある。

Q. あなたは、今年の4月から今日まで、友人がいじめられているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。

	平成27年11月		平成27年6月		平成26年11月		平成26年6月		平成25年11月		平成25年6月		平成24年11月		平成24年5月	
	ある	率	ある	率												
小1年生	87人	33%	59人	22%	74人	26%	66人	23%	91人	30%	61人	20%	85人	32%	64人	24%
小2年生	70人	24%	73人	25%	87人	30%	78人	26%	62人	24%	49人	19%	75人	26%	91人	31%
小3年生	70人	22%	50人	16%	48人	17%	33人	12%	65人	23%	54人	20%	61人	20%	44人	14%
小4年生	33人	12%	14人	5%	62人	22%	47人	16%	55人	18%	46人	16%	39人	13%	54人	18%
小5年生	52人	18%	31人	10%	54人	18%	49人	17%	52人	18%	40人	13%	49人	16%	37人	12%
小6年生	39人	12%	27人	9%	36人	13%	22人	7%	40人	12%	32人	11%	82人	25%	55人	16%
中1年生	66人	21%	18人	6%	50人	15%	16人	5%	44人	13%	18人	6%	42人	12%	31人	9%
中2年生	21人	7%	17人	7%	28人	9%	32人	10%	23人	7%	26人	9%	85人	24%	39人	11%
中3年生	7人	2%	3人	1%	17人	6%	12人	5%	30人	8%	18人	6%	31人	9%	38人	13%
計	445人	16%	292人	11%	456人	17%	355人	13%	462人	16%	344人	13%	549人	19%	453人	16%

【考察】

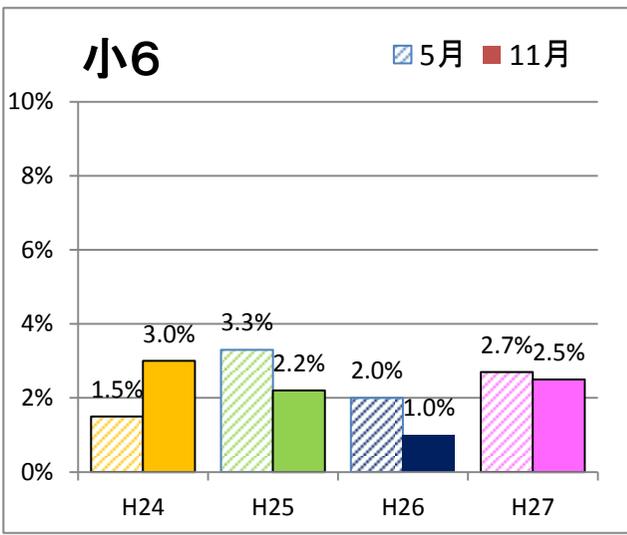
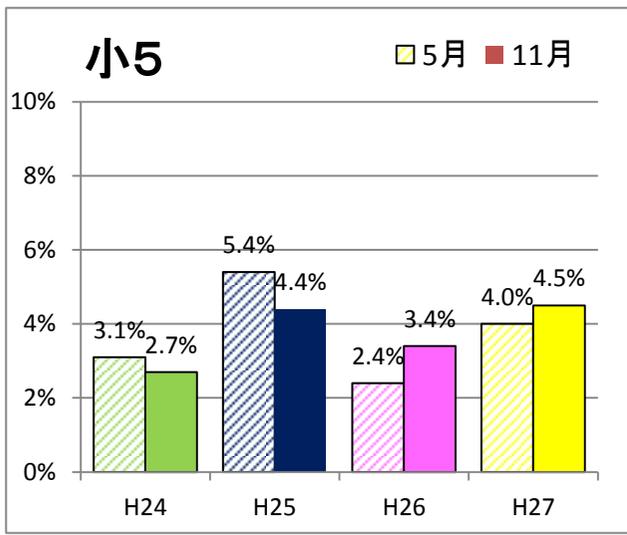
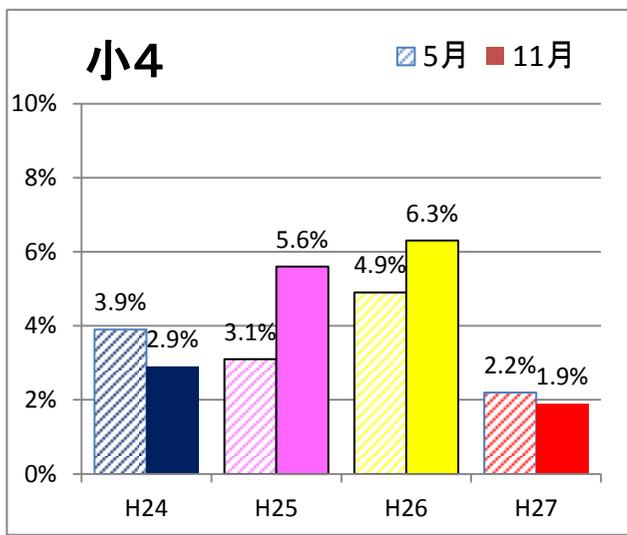
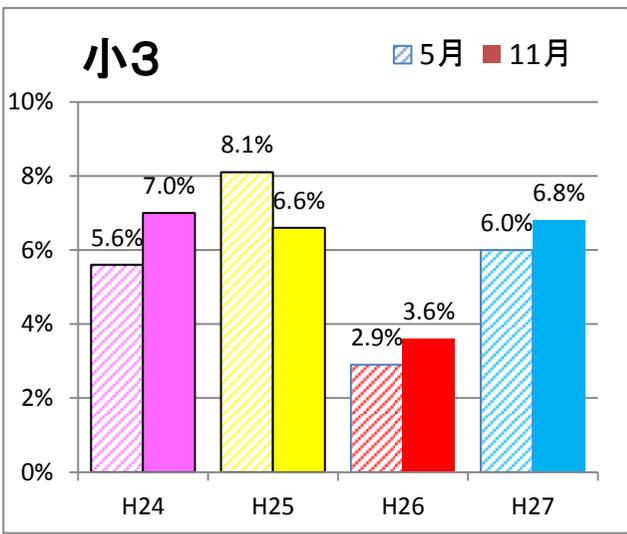
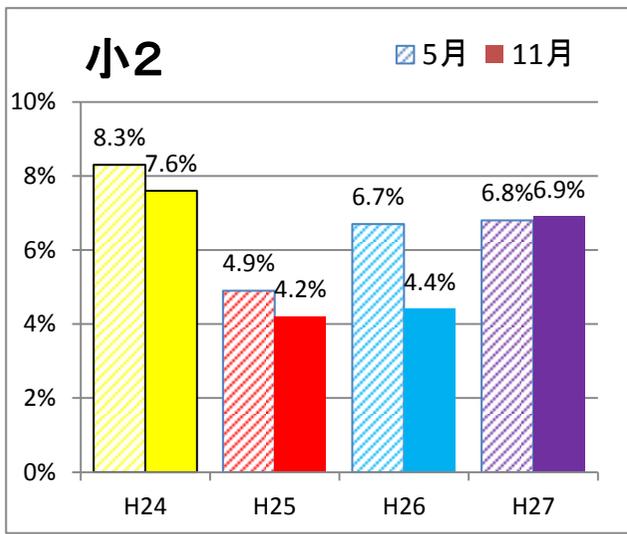
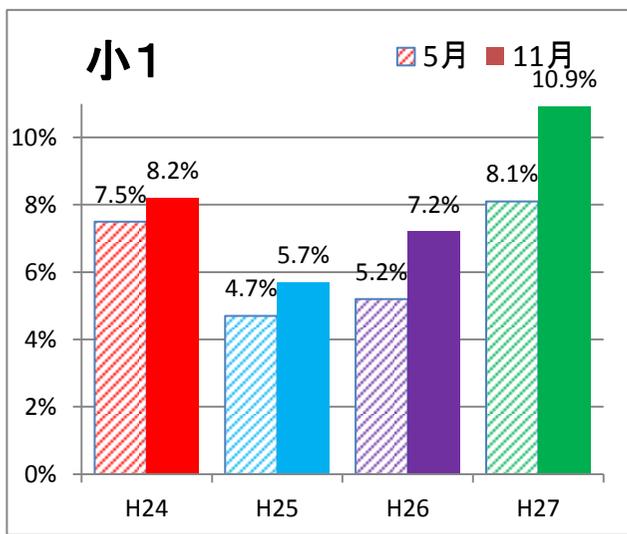
各学年の経年変化を見ていくと、中1以外は減少傾向にある。しかし中1については増加はしているが例年同様の傾向にあるといえる。

中学1年生は平成24年5月の調査以来の初めての20%台の数値となった。逆に、小学4年生及び小学6年生は年2回行われる調査の数値の両方ともに低率で推移しており、中学2～3年生も平成25年の調査以後安定的に10%を切っている。

各学校では、今回の「子どもの目から見た」いじめの実態について把握・精査し、その結果を校内で共通理解し学級指導にもフィードバックしている。しかし、事後対応に追われることにならないためにも、例えば、子ども同士のコミュニケーションスキルを測定し改善を図るツール「ほっと」を活用したり、道徳の時間を基軸とした道徳教育の充実を図るなど、いじめの未然防止につながる取組を充実させる必要がある。

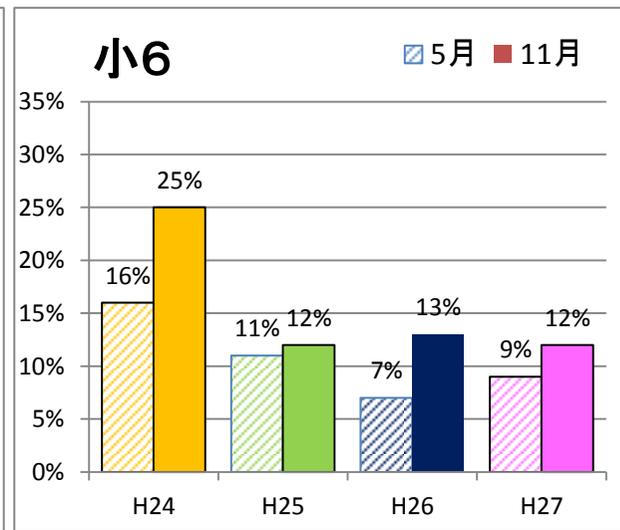
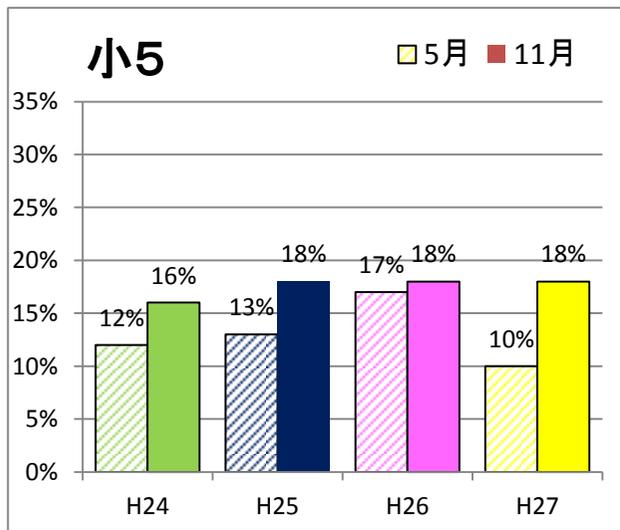
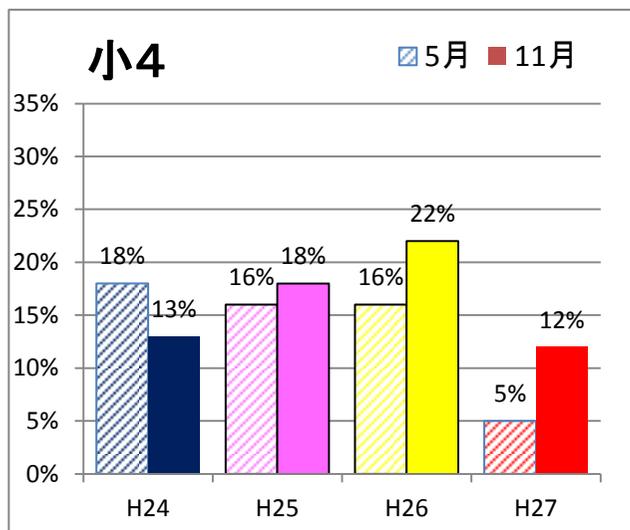
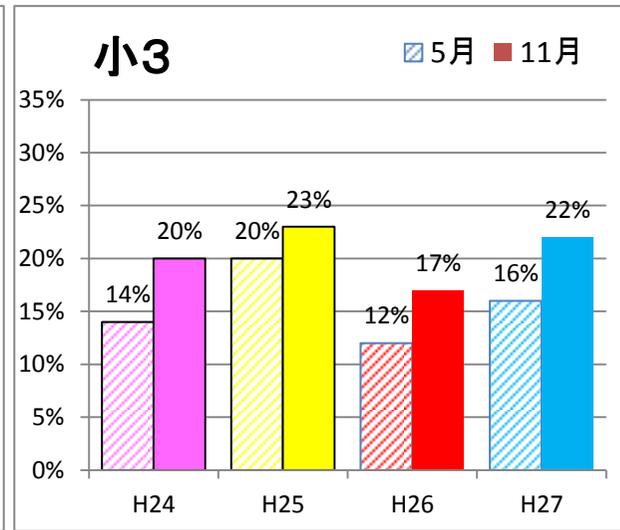
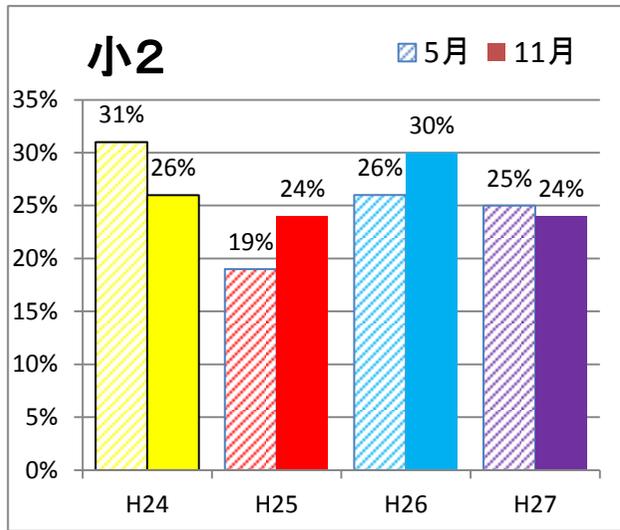
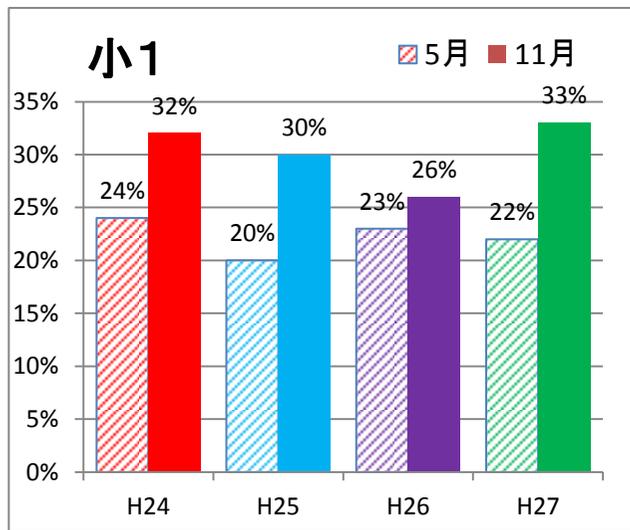
学年	小1		小2		小3		小4		小5		小6	
実施時期	5月	11月	5月	11月	5月	11月	5月	11月	5月	11月	5月	11月
H24	7.5%	8.2%	8.3%	7.6%	5.6%	7.0%	3.9%	2.9%	3.1%	2.7%	1.5%	3.0%
H25	4.7%	5.7%	4.9%	4.2%	8.1%	6.6%	3.1%	5.6%	5.4%	4.4%	3.3%	2.2%
H26	5.2%	7.2%	6.7%	4.4%	2.9%	3.6%	4.9%	6.3%	2.4%	3.4%	2.0%	1.0%
H27	8.1%	10.9%	6.8%	6.9%	6.0%	6.8%	2.2%	1.9%	4.0%	4.5%	2.7%	2.5%

今年から実施される



学年	小1		小2		小3		小4		小5		小6	
実施時期	5月	11月										
H24	24%	32%	31%	26%	14%	20%	18%	13%	12%	16%	16%	25%
H25	20%	30%	19%	24%	20%	23%	16%	18%	13%	18%	11%	12%
H26	23%	26%	26%	30%	12%	17%	16%	22%	17%	18%	7%	13%
H27	22%	33%	25%	24%	16%	22%	5%	12%	10%	18%	9%	12%

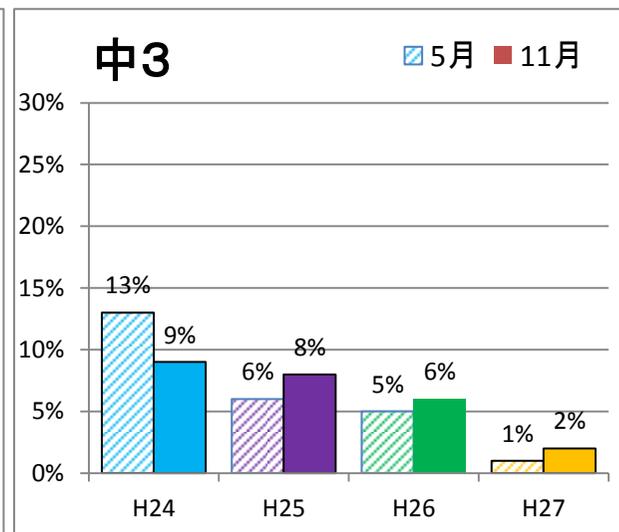
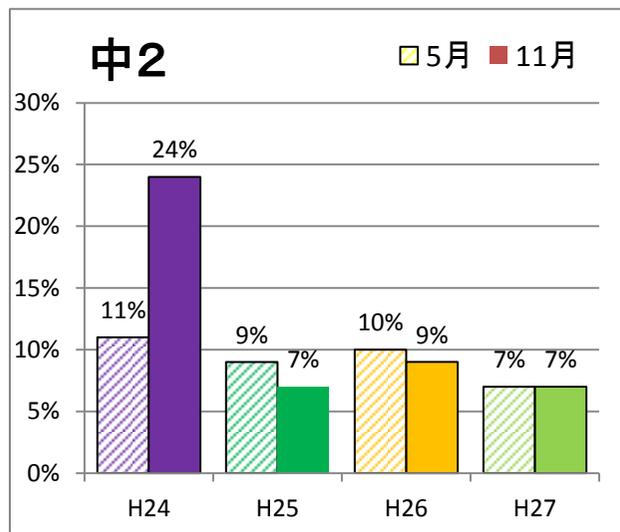
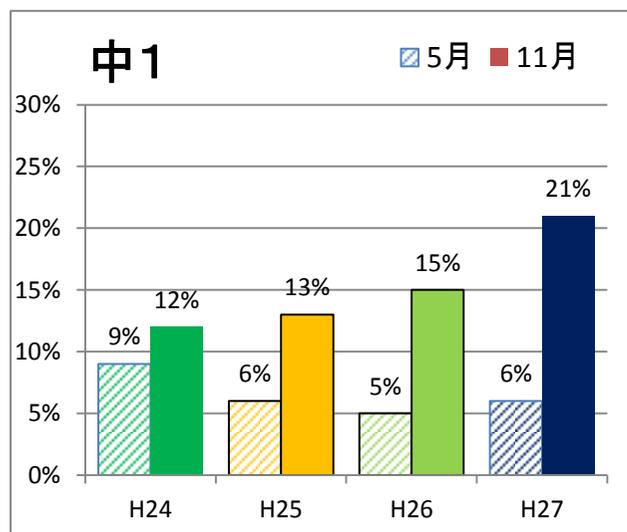
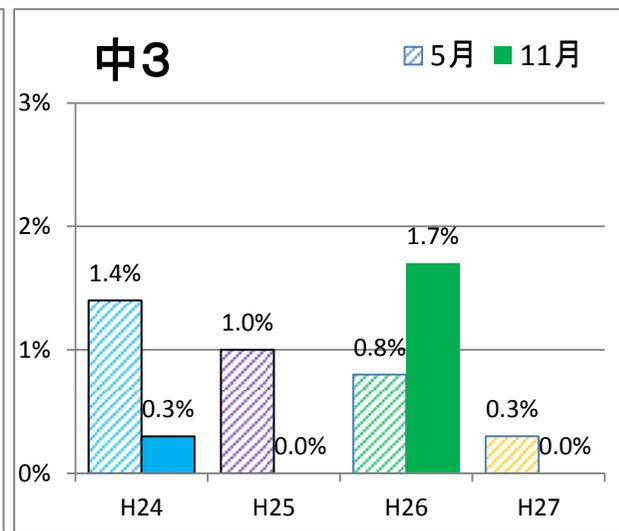
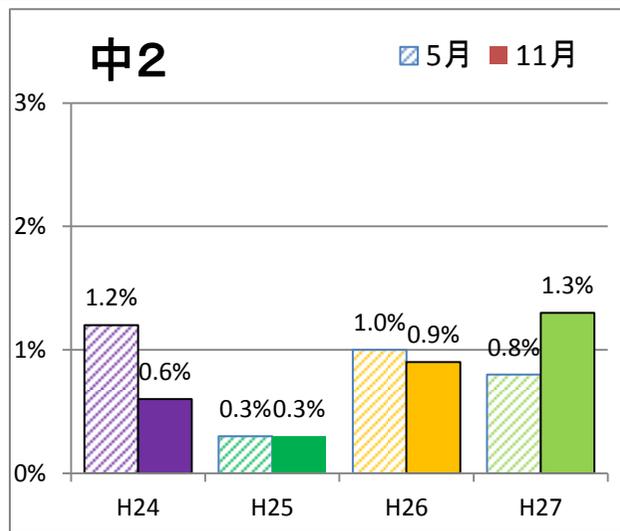
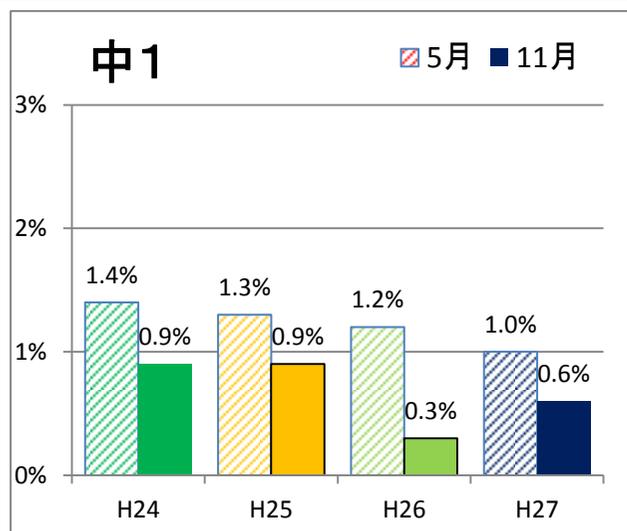
いじめを見たり聞いたりしたことがある



区分 学年 実施時期	今もいじめられている						いじめを見たり聞いたりしたことがある					
	中1		中2		中3		中1		中2		中3	
	5月	11月	5月	11月	5月	11月	5月	11月	5月	11月	5月	11月
H24	1.4%	0.9%	1.2%	0.6%	1.4%	0.3%	9%	12%	11%	24%	13%	9%
H25	1.3%	0.9%	0.3%	0.3%	1.0%	0.0%	6%	13%	9%	7%	6%	8%
H26	1.2%	0.3%	1.0%	0.9%	0.8%	1.7%	5%	15%	10%	9%	5%	6%
H27	1.0%	0.6%	0.8%	1.3%	0.3%	0.0%	6%	21%	7%	7%	1%	2%

今もいじめられている

いじめを見たり聞いたりしたことがある



区分 校種	いじめはどんな理由があっても許されないことだと思う			
	小学校1～2年生	小学校3～6年生	中学校	
H24	H24 6月	79.0%	77.0%	77.0%
	11月	78.0%	79.0%	73.0%
H25	H25 6月	85.0%	83.0%	79.0%
	11月	78.0%	88.0%	74.0%
H26	H26 6月	85.0%	85.0%	79.0%
	11月	82.0%	88.0%	80.0%
H27	H27 6月	81.0%	89.0%	87.0%
	11月	85.0%	88.0%	84.0%

いじめはどんな理由があっても許されないことだと思う

